

# 2010年3月期 期末決算説明会

---

2010年5月18日(火)  
日本ハム株式会社

## 目 次

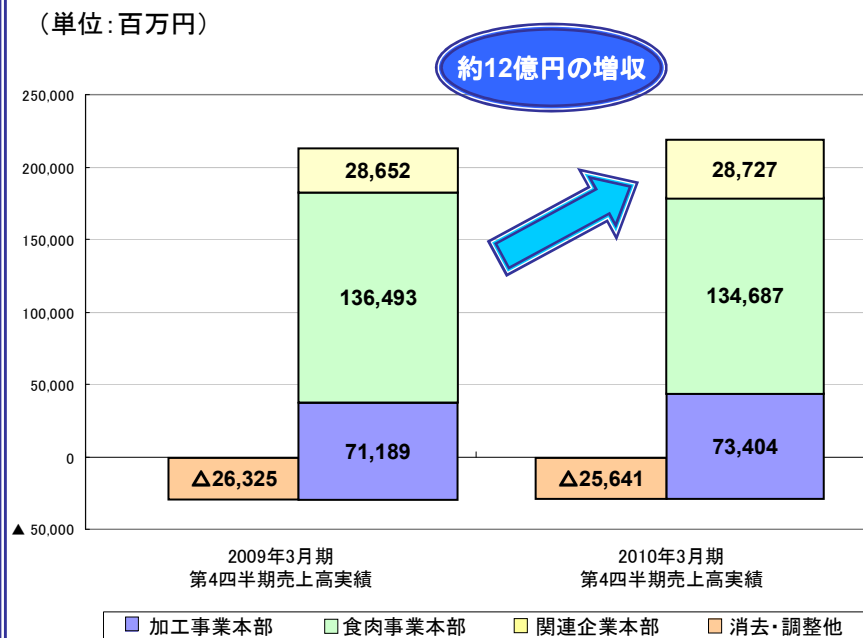
1. 2010年3月期 期末連結業績の総括
2. 2011年3月期の見通し
3. 2010年3月期 期末財務データ

## 2010年3月期 期末連結業績の総括

1. オペレーティング・セグメント情報 第4四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 通期
3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
6. 海外 主要地域別業績実績

◆オペレーティング・セグメント情報【2010年3月期第4四半期】

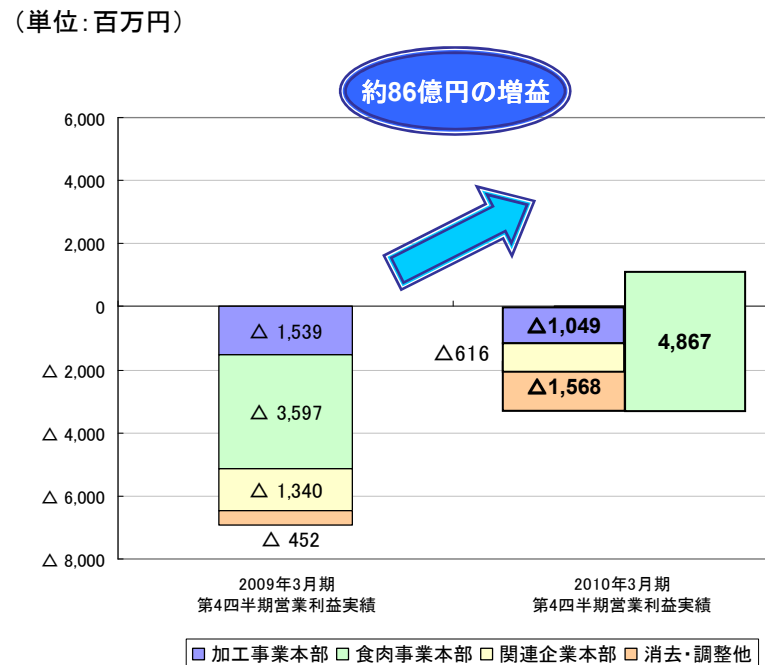
【売上高】



(単位:百万円・%)

	2009年3月期 第4四半期売上高実績	2010年3月期 第4四半期売上高実績	前年比
加工事業本部	71,189	73,404	3.1
食肉事業本部	136,493	134,687	△ 1.3
関連企業本部	28,652	28,727	0.3
消去・調整他	△ 26,325	△ 25,641	-
<b>連結合計</b>	<b>210,009</b>	<b>211,177</b>	<b>0.6</b>

【営業利益】



(単位:百万円)

	2009年3月期 第4四半期営業利益実績	2010年3月期 第4四半期営業利益実績	前年差
加工事業本部	△ 1,539	△ 1,049	490
食肉事業本部	△ 3,597	4,867	8,464
関連企業本部	△ 1,340	△ 616	724
消去・調整他	△ 452	△ 1,568	△ 1,116
<b>連結合計</b>	<b>△ 6,928</b>	<b>1,634</b>	<b>8,562</b>

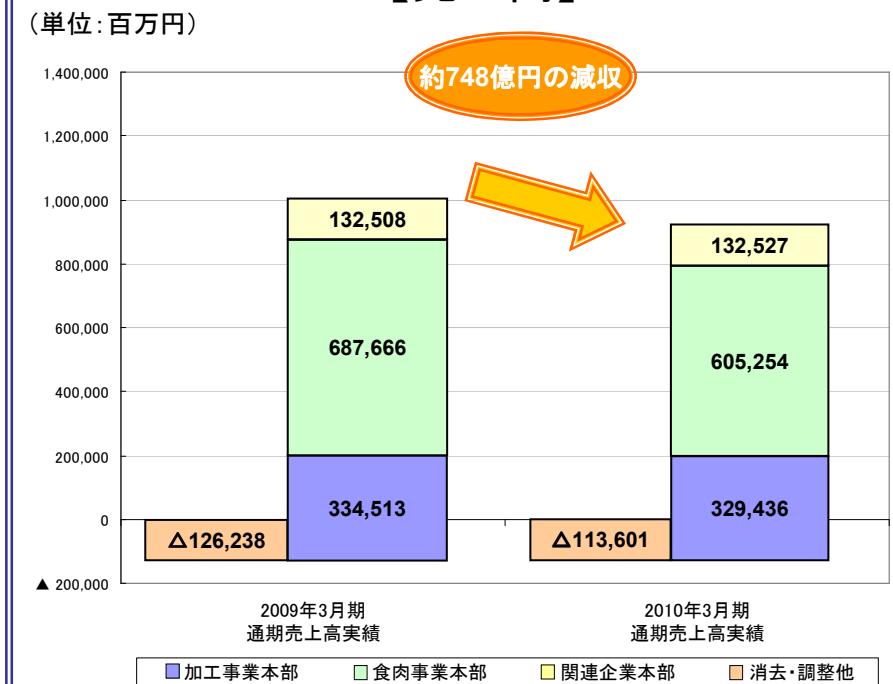
※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P.17の品種別の売上高の数値は一致しません。

※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

※前年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行っております。

◆オペレーティング・セグメント情報【2010年3月期通期】

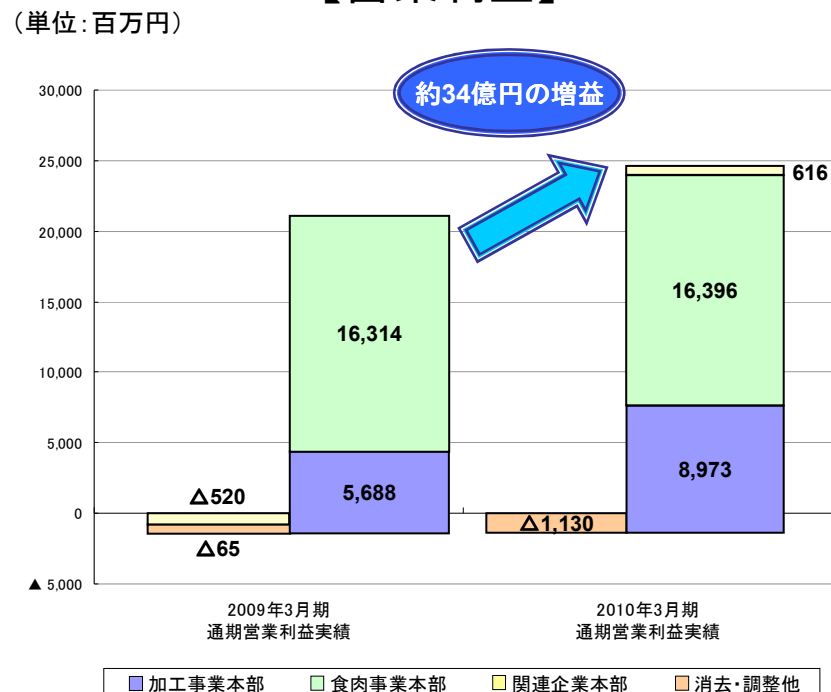
【売上高】



(単位:百万円・%)

	2009年3月期 通期売上高実績	2010年3月期 通期売上高実績	前年比
加工事業本部	334,513	329,436	△ 1.5
食肉事業本部	687,666	605,254	△ 12.0
関連企業本部	132,508	132,527	0.0
消去・調整他	△ 126,238	△ 113,601	-
<b>連結合計</b>	<b>1,028,449</b>	<b>953,616</b>	<b>△ 7.3</b>

【営業利益】



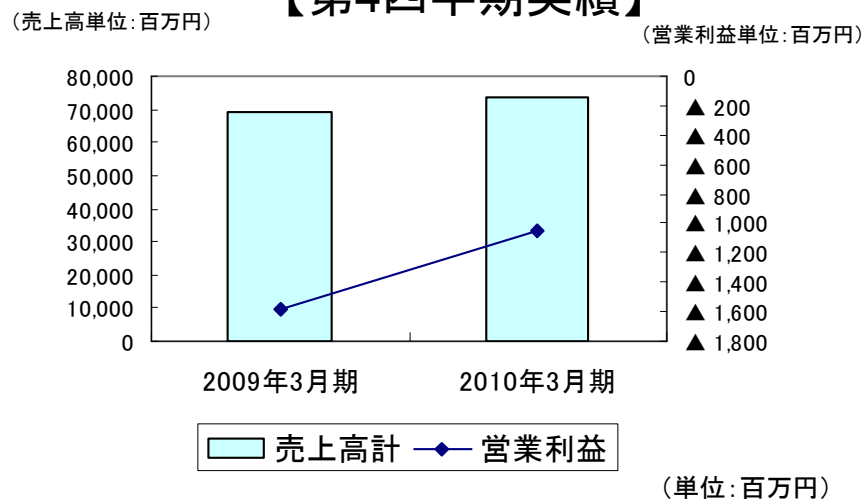
(単位:百万円)

	2009年3月期 通期営業利益実績	2010年3月期 通期営業利益実績	前年差
加工事業本部	5,688	8,973	3,285
食肉事業本部	16,314	16,396	82
関連企業本部	△ 520	616	1,136
消去・調整他	△ 65	△ 1,130	△ 1,065
<b>連結合計</b>	<b>21,417</b>	<b>24,855</b>	<b>3,438</b>

※オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P.17の品種別の売上高の数値は一致しません。  
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。  
 ※前年度の各セグメントの実績は、一部の子会社の管轄事業部を変更したため、組替再表示を行っております。

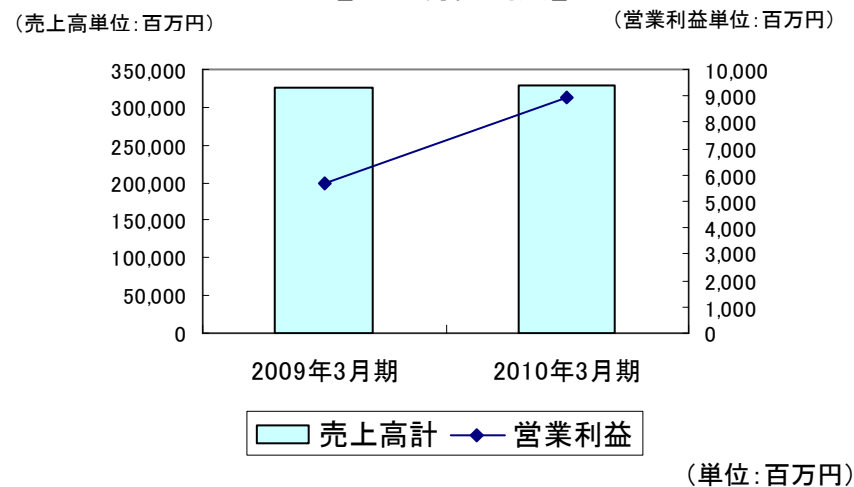
【加工事業本部】

【第4四半期実績】



	2009年3月期	2010年3月期
売上高計	71,189	73,404
営業利益	△ 1,539	△ 1,049
営業利益率	-	-

【通期実績】



	2009年3月期	2010年3月期
売上高計	334,513	329,436
営業利益	5,688	8,973
営業利益率	1.7%	2.7%

【第4四半期の状況】

- ・売上高は、販売数量の大幅増加により、対前年比3.1%の増収。
- ・営業利益は、特に業務用加工食品の販売数量増の効果と、原材料・資材価格低下の効果により、約5億円の改善。

【通期の状況】

- ・売上高は、デフレの影響による販売価格の低下等により、対前年比△1.5%の減収。
- ・営業利益は、販促強化による数量増で製造部門の稼働率が向上したこと、原材料価格の低減効果およびコスト削減策の効果により、対前年比57.8%の大幅増益となった。

【加工事業本部 営業利益増減要因イメージ】

●2010年3月期の利益増減イメージ

【原料・資材価格の営業利益への影響額】

⇒前年差約77億円のプラス要因

【加工事業本部トータルでの増減額】

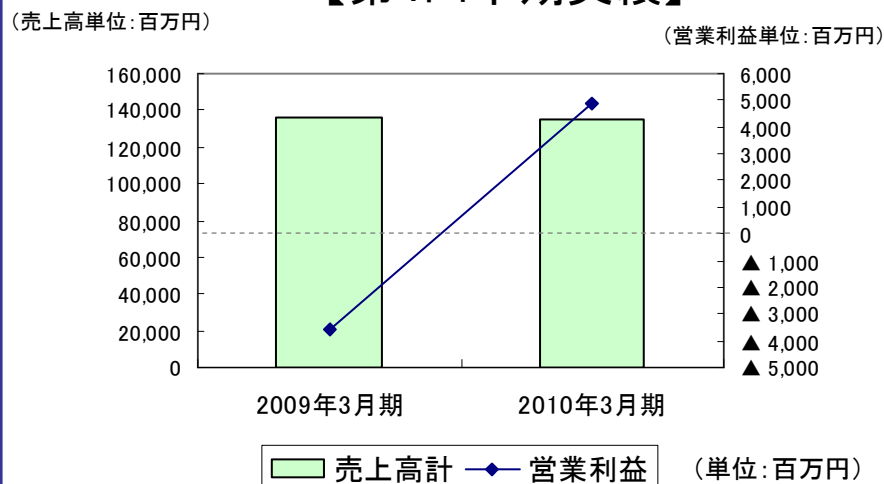
⇒前年差約33億円の増益

【加工事業本部 営業利益増減要因分析イメージ】

	2010年3月期 通期実績
<b>主原料・副資材価格要因合計</b>	<b>77億円</b>
(内訳)主原料価格縮小額	56億円
(内訳)資材価格・物流費等縮小額	21億円
<b>コストダウン要因合計</b>	<b>48億円</b>
製造部門等の改善活動効果額	42億円
構造改革効果額	7億円
売上増による効果額	△1億円
<b>コストアップ要因合計</b>	<b>△92億円</b>
販促・商品リニューアル等費用額	△62億円
TVCM投入費用額	△5億円
システム物流拠点初期導入費用額	△18億円
その他	△7億円
<b>合計</b>	<b>33億円</b>

【食肉事業本部】

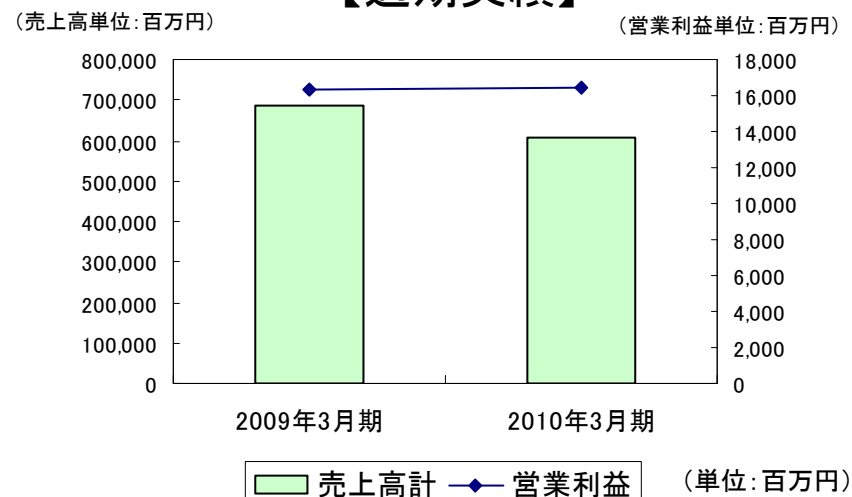
【第4四半期実績】



	2009年3月期	2010年3月期
売上高計	136,493	134,687
営業利益	▲ 3,597	4,867
営業利益率	-	3.6%

【通期実績】

(単位:百万円・%)



	2009年3月期	2010年3月期
売上高計	687,666	605,254
営業利益	16,314	16,396
営業利益率	2.4%	2.7%

【第4四半期の状況】

- ・売上高は、対前年比△1.3%まで回復。
- ・営業利益は、食肉相場の回復と、前年度の高値在庫処分の反動等で、対前年差約85億円の大増益。

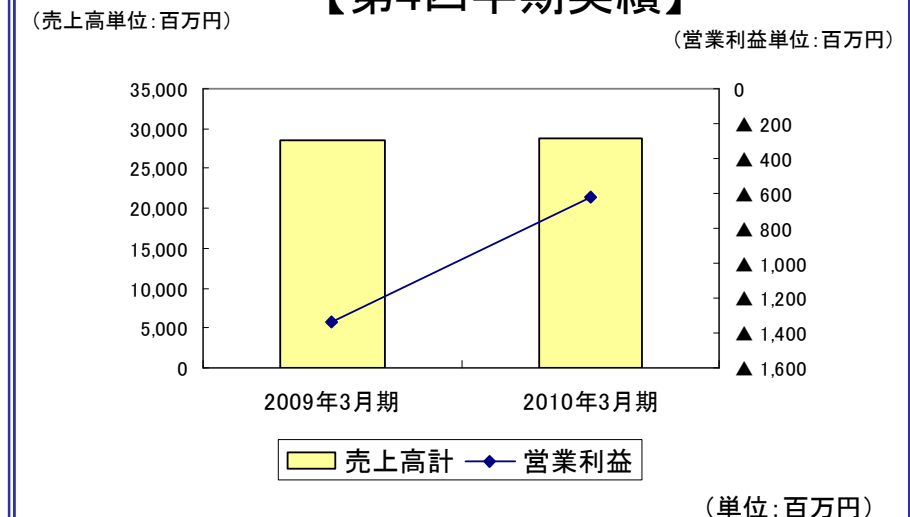
【通期の状況】

- ・売上高は、消費の低価格志向と、特に上期の相場の伸び悩みにより、対前年比△12.0%の減収。
- ・営業利益は、前年度上期の食肉相場高騰の反動と、年間通しての相場の伸び悩みで苦戦したが、数量増と米州事業の改善により、対前年比0.5%の微増益。



【関連企業本部】

【第4四半期実績】



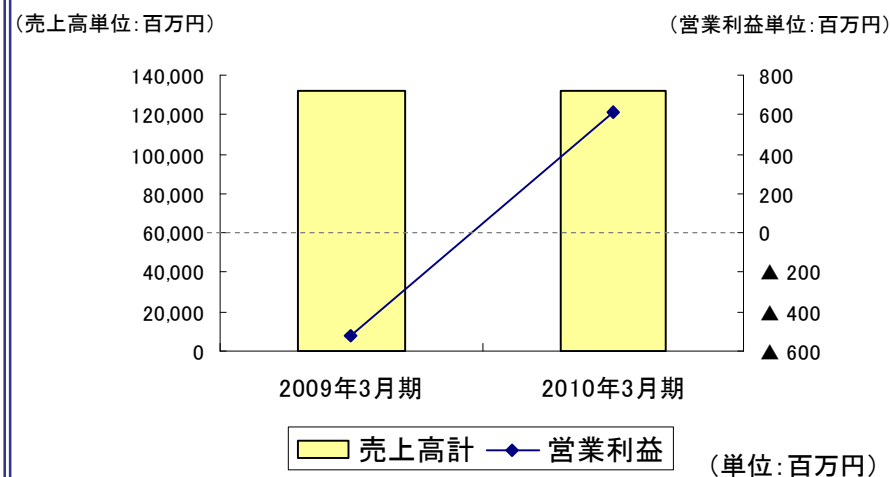
【第4四半期の状況】

- ・売上高は、販売価格の下落を販売数量増等で補い、対前年比0.3%の微増収。
- ・営業利益は、業務用チーズ等の販売数量増の効果と、業務の効率化によるコスト削減効果により、約7億円の改善。

《参考～主な関連会社の状況～》

	状況
マリンフーズ	売上・利益ともに前年を上回った。
宝幸	売上は前年を下回ったが、利益は上回った。
日本ルナ	売上は前年を下回ったが、利益は上回った。

【通期実績】



【通期の状況】

- ・売上高は、デフレの影響で販売価格が下落する中、水産品などの販売数量を拡大し、前年並みを維持。
- ・営業利益は、乳製品の原料コストが安定する中、販売数量増の効果もあり、対前年差約11億円の大幅改善。

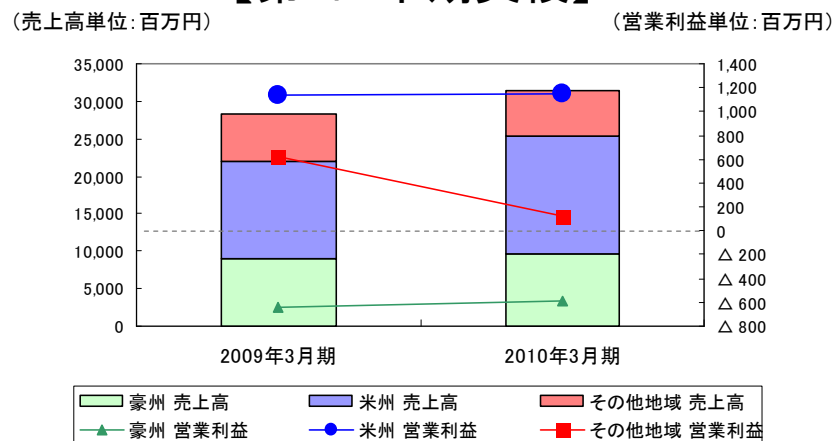
《参考～主な関連会社の状況～》

	状況
マリンフーズ	売上・利益ともに前年を上回った。
宝幸	売上は前年を下回ったが、利益は上回った。
日本ルナ	売上、利益ともに前年を上回った。

# 海外 主要地域別業績状況

## 【海外事業】

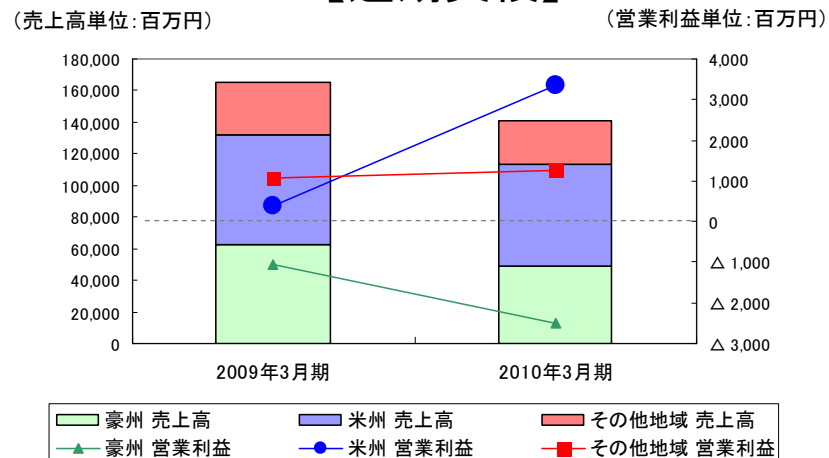
### 【第4四半期実績】



(単位: 百万円)

		2009年3月期	2010年3月期
海外計	売上高	27,845	30,988
	営業利益	1,141	687
豪州	売上高	9,096	9,648
	営業利益	△ 641	△ 583
米州	売上高	12,968	15,792
	営業利益	1,131	1,154
その他地域	売上高	6,282	5,902
	営業利益	627	118

### 【通期実績】



(単位: 百万円)

		2009年3月期	2010年3月期
海外計	売上高	161,655	138,660
	営業利益	411	2,102
豪州	売上高	62,536	49,308
	営業利益	△ 1,043	△ 2,510
米州	売上高	69,784	64,045
	営業利益	394	3,354
その他地域	売上高	32,592	27,508
	営業利益	1,080	1,242

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません。)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他海外は、アジア、欧州となっております。

#### 【第4四半期の状況】

- ・売上高は、主に米州での豚肉取り扱いの回復により、海外トータルで対前年比11.3%の増収。
- ・営業利益は、豪州事業が回復基調となったが、海外トータルでは対前年比△39.8%の減益。

#### 【通期の状況】

- ・売上高は、世界的な食肉相場の伸び悩みと、為替の影響等により、対前年比△14.2%の減収。
- ・営業利益は、米州事業の改善効果で、海外トータルで対前年比411.4%の大幅増益となった。

## 2011年3月期の見通し

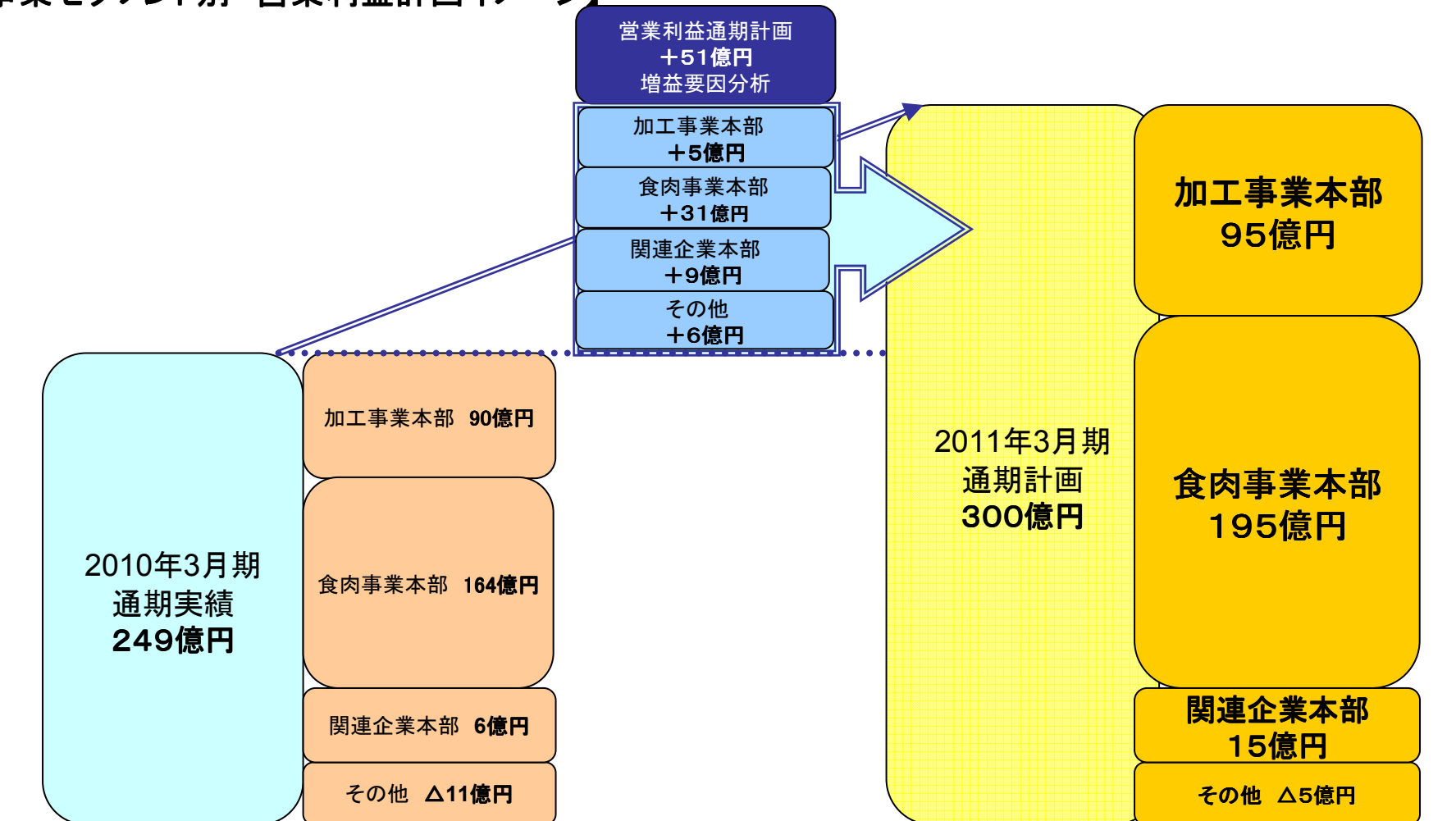
1.2011年3月期 事業セグメント別営業利益計画イメージ

2.加工事業本部の見通し

3.食肉事業本部の見通し

4.関連企業本部の見通し

【事業セグメント別 営業利益計画イメージ】



	上期計	下期計	通期
2010年3月期実績	88億円	161億円	249億円
2011年3月期計画	160億円	140億円	300億円
対前年差	+72億円	△21億円	+51億円

## 【加工事業本部 売上拡大施策】

### ●中元・歳暮ギフトの計画

- ・中元は、好調だった前年度に続き、110%を見込む。
- ・歳暮は、「美ノ国」を機軸に新販路(職域・通販)と顧客を開拓し、110%を見込む。

### ●主要ブランド・新商品の状況

【(参考)2010年3月期通期 主要ブランド商品売上高前年比】

シャウエッセン群	106%	中華名菜群	103%
森の薫りウインナー	91%	石窯工房群	97%
ロースハム群	100%	プリフライ群	87%
ベーコン群	106%	ハンバーグ・ミートボール群	96%

### ●チャネル別の状況

【(参考)2010年3月期通期 チャネル別売上金額伸び率】

	コンシューマ	業務用	計
ハム・ソーセージ	100%	96%	99%
デリ商品	96%	105%	100%

## 【ギフト販売個数 2010年3月期実績と2011年3月期計画】

(単位:千個・%)

	2010年3月期実績	2011年3月期計画	前年比
中元ギフト販売個数	1,926	2,110	110%
歳暮ギフト販売個数	4,813	5,290	110%
合計	6,739	7,400	110%

### ●売上拡大施策

#### ①ハム・ソーセージ

- ・TVCFを活用した「シャウエッセン」の更なるシェア向上。
- ・「チキンマイスター」の投入による、新規カテゴリーの構築。
- ・ロースハムを中心とした単味品のシェア向上。

#### ②加工食品

- ・4大カテゴリーのシェア向上。
- ・新商品「特蒸焼売」の拡販・定着の推進。
- ・「常温カレー群」の取り組み強化。

### ●売上拡大施策

- ・コンシューマは、内食化の傾向を捉え、重点ブランド商品の強化を行い、納店率の向上を図る。
- ・業務用は、販売数量の拡大に重点を置き、「提案営業」により、大型食材の導入を図る。

【加工事業本部 営業利益計画】

●2011年3月期の利益増減イメージ

【原料・資材価格の営業利益への影響額】

⇒前年差約18億円のマイナス要因

【加工事業本部トータルでの増減額】

⇒前年差約5億円の増益を目指す

【加工事業本部 営業利益増減要因分析イメージ】

	2011年3月期 通期見込み
主原料・副資材価格要因合計	△18億円
（内訳）主原料価格	△10億円
（内訳）資材価格・燃料費等	△8億円
プラス要因合計	39億円
製造部門等の改善活動効果額	25億円
売上増による増益	14億円
マイナス要因合計	△16億円
SCM費用効果額	△5億円
その他（販促費用等）	△11億円
合計	5億円

## 【食肉事業本部 市場環境見通し】

### ●海外事業の現状

#### ◆豪州事業の現状

⇒世界的な牛肉需要の減退と相場下落により、厳しい状況が続く。

#### ◆米州事業の現状

⇒米国内の需給バランスが整い始め、豚生体相場も、徐々に回復。

### ●海外事業の見通し

#### ◆豪州事業の見通し

⇒牛肉事業は引き続きコスト削減に取り組んでいるが、生体牛の減少による仕入れ価格の上昇や販売価格の見通しに厳しい状況が続く。皮革事業は生産工場の集約効果もあり改善している。

#### ◆米州事業の見通し

⇒養豚事業は豚生体相場の回復と生産コスト削減効果もあり、改善を見込む。

### ●国内生産事業の現状

#### ◆飼料価格の現状

⇒前期より穀物相場は安定的に推移。

#### ◆国内ファーム事業の現状

⇒昨年末の需要期以降、鶏肉は相場が回復。豚肉は依然として供給過多で厳しい状況。

### ●国内生産事業の見通し

#### ◆飼料価格の見通し

⇒引き続き穀物相場は安定すると見込む。

#### ◆国内ファーム事業の見通し

⇒鶏肉は、梅雨の不需要期に向かって多少の相場下落を見込むが、生産コストの改善と出荷羽数の増加で改善。豚肉は、需要の回復と海外豚肉相場の上昇から枝肉相場は徐々に上昇を予測。生産コスト削減効果が出ており改善を見込む。

### ●販売会社の現状

⇒販売価格が下落し競争が激化する中、販売数量の拡大を図り、利益を確保。

### ●販売会社の見通し

⇒引き続き、量販店、外食店を中心に販売数量を拡大し、シェアアップと利益確保を目指す。  
⇒インテグレーションを活かした付加価値、競争力のある自社ブランド商品の販売を強化する。

## ●水産事業の現状

- ・内食需要の増加を背景に、量販店チャンネルに積極的に拡販し売上金額は増加。  
一方、外食チャンネルは、価格競争の激化と高価格商品から低価格商品へのシフトにより、売上金額は減少。

【(参考情報)10年3月期通期 マリンフーズ(株)チャンネル別売上伸び率】

	対前年比	
	売上数量	売上金額
寿司店	102%	95%
量販店	113%	106%

## ●今後の方針

- ・主要チャンネルである量販店に、セールスマンの提案営業力やメーカーの強みを生かした取り組みを強化し、拡販を図る。
- ・三重工場にて新商品の開発力を強化。付加価値の高い商品と得意先の専用商品を拡販し、収益の改善を図る。

## ●乳製品事業の現状

- ・チーズは、売上数量を前年比約20%伸長させたが、単価下落により、売上金額は減少。
- ・ヨーグルトは、主力チャンネルの拡販効果により、好調に推移。  
【10年3月期通期 商品別売上伸び率】

	対前年比	
	売上数量	売上金額
チーズ	120%	96%
ヨーグルト	109%	103%

## ●今後の方針

- ・量販店チャンネルに対して、グループ営業の拡大と、メーカーの強みを活かした取り組みを強化し、拡販を図る。
- ・チーズは、主力チャンネルである外食・食品メーカーに対して生産技術力を活かし、拡販を図る。
- ・ヨーグルトは、主力の「バニラヨーグルト」を中心に販促強化するとともに、新商品を積極的に投入し、量販店およびコンビニエンスストア向けの販売を拡大する。

## ●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズは、今年に入って輸入原料の価格が上昇している。
- ・ヨーグルトの原料である粉乳については、国産、輸入品とも安定している。

## ●今後の見通し

- ・上期は、チーズの原料価格は上昇するが、4月に価格改定を行なった。下期以降の動向は不透明。
- ・ヨーグルトについては、国産粉乳は引き続き安定する予測だが、海外産粉乳は上昇する見通しである。



## 2010年3月期 期末財務データ

1. 2010年3月期連結業績概要及び2011年3月期計画
2. 2010年3月期 連結売上区分伸び率

2010年3月期連結業績概要及び2011年3月期計画《所在地別セグメント状況》

3. 販管費・その他収益・その他費用
4. 貸借対照表、設備投資額・減価償却費
5. 連結キャッシュフロー、経営指標

# 2010年3月期連結業績概要

(単位:百万円、%)

《連結業績》	2010年3月期実績						2011年3月期計画					
	上期実績	前年比	下期実績	前年比	通期実績	前年比	上期計画	前年比	下期計画	前年比	通期計画	前年比
売上高	474,973	△ 11.3	478,643	△ 2.9	953,616	△ 7.3	495,000	4.2	505,000	5.5	1,000,000	4.9
ハム・ソーセージ	66,636	2.4	70,913	△ 3.9	137,549	△ 1.0	67,500	1.3	72,500	2.2	140,000	1.8
加工食品	92,655	△ 2.1	96,215	3.7	188,870	0.8	95,000	2.5	98,000	1.9	193,000	2.2
食肉	250,498	△ 18.5	245,602	△ 5.2	496,100	△ 12.4	266,500	6.4	265,500	8.1	532,000	7.2
牛肉	95,202	△ 16.5	85,902	△ 7.6	181,104	△ 12.5	100,000	5.0	95,000	10.6	195,000	7.7
豚肉	92,998	△ 19.4	92,735	△ 5.7	185,733	△ 13.1	99,000	6.5	102,000	10.0	201,000	8.2
鶏肉	50,229	△ 24.9	55,540	△ 2.6	105,769	△ 14.6	54,500	8.5	56,500	1.7	111,000	4.9
その他食肉	12,069	9.6	11,425	5.8	23,494	7.7	13,000	7.7	12,000	5.0	25,000	6.4
水産	39,908	△ 3.7	42,662	0.8	82,570	△ 1.4	41,000	2.7	43,000	0.8	84,000	1.7
乳製品	11,344	3.7	10,641	△ 5.7	21,985	△ 1.0	11,000	△ 3.0	12,000	12.8	23,000	4.6
その他	13,932	△ 14.5	12,610	△ 6.0	26,542	△ 10.7	14,000	0.5	14,000	11.0	28,000	5.5
売上原価	380,453	△ 11.7	374,539	△ 7.0	754,992	△ 9.4						
売上総利益	94,520	△ 9.7	104,104	15.5	198,624	1.9						
売上総利益率	19.9%	-	21.7%	-	20.8%	-						
販売費及び一般管理費	85,764	1.5	88,005	△ 1.1	173,769	0.2						
営業利益	8,756	△ 56.8	16,099	1,283.1	24,855	16.1	16,000	82.7	14,000	△ 13.0	30,000	20.7
税引前利益	8,520	△ 25.1	15,504	-	24,024	282.1	14,000	64.3	12,000	△ 22.6	26,000	8.2
当社株主帰属当期純利益	5,405	△ 16.5	10,316	△ 314.1	15,721	848.8	7,500	38.8	6,500	△ 37.0	14,000	△ 10.9

\* 米国会計基準を組替えて表示しております。

\* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

## 2010年3月期連結業績概要《連結売上区分別伸率、所在地別セグメント状況》

### 【連結売上区分別伸び率】

品 種	2010年3月期 連結第4四半期実績伸び率		2010年3月期 連結通期実績伸び率	
	数 量	金 額	数 量	金 額
ハム・ソーセージ	106.5%	97.6%	103.4%	99.0%
加工食品	115.8%	103.0%	106.5%	100.8%
食肉	105.3%	100.1%	101.0%	87.6%
牛肉	96.4%	93.6%	100.0%	87.5%
豚肉	102.1%	98.3%	96.9%	86.9%
鶏肉	115.4%	107.8%	106.7%	85.4%
その他食肉	132.6%	131.5%	116.0%	107.7%

### 【所在地別セグメント状況】

(単位:百万円、%)

《連結業績》	2010年3月期実績			2011年3月期計画					
	上期実績	下期実績	通期実績	上期計画	前年比	下期計画	前年比	通期計画	前年比
《所在地別セグメント情報》									
国内売上高	442,465	450,898	893,363	461,800	4.4	474,200	5.2	936,000	4.8
外部顧客売上高	442,215	450,657	892,872	461,500	4.4	473,500	5.1	935,000	4.7
セグメント間内部売	250	241	491	300	20.0	700	190.5	1,000	103.7
国内営業利益	9,487	13,636	23,123	15,300	61.3	12,800	△ 6.1	28,100	21.5
国内売上高営業利益率	2.1%	3.0%	2.6%	3.3%	-	2.7%	-	3.0%	-
海外売上高	72,168	66,492	138,660	73,500	1.8	71,500	7.5	145,000	4.6
外部顧客売上高	32,758	27,986	60,744	33,500	2.3	31,500	12.6	65,000	7.0
セグメント間内部売	39,410	38,506	77,916	40,000	1.5	40,000	3.9	80,000	2.7
海外営業利益	△ 448	2,550	2,102	1,000	-	1,200	△ 52.9	2,200	4.7
海外売上高営業利益率	-	3.8%	1.5%	1.4%	-	1.7%	-	1.5%	-

\* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

\* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

## 連結業績概要(販管費・その他収益・その他費用)

(単位:百万円、%)

	2009年3月期		2010年3月期	
	通期実績	通期実績	対前年増減率	対前年増減額
★① <<販管費>>				
★① 販売費及び一般管理費	173,468	173,769	0.2	301
人件費	69,045	69,167	0.2	122
★② 販売促進費	16,517	15,813	△ 4.3	△ 704
★③ 物流費	36,877	36,800	△ 0.2	△ 77
その他	51,029	51,989	1.9	960

主な増減要因

- ★①販管費計 : 前期比約3億円増加。販管費率は、16.9%から18.2%と、1.3ポイント増加。  
 ★②販売促進費 : 広告宣伝費の減少等により、約7億円減少。  
 ★③物流費 : ほぼ前年並みでの着地となった。

(単位:百万円、%)

	2009年3月期		2010年3月期	
	通期実績	通期実績	対前年増減率	対前年増減額
<<連結その他収益・その他費用>>				
その他収益合計	1,299	4,694	261.4	3,395
受取利益・配当金	1,030	540	△ 47.6	△ 490
★① 為替差益	-	4,095	-	4,095
その他	269	59	△ 78.1	△ 210

支払利息	2,506	2,125	△ 15.2	△ 381
その他費用合計	13,923	3,400	△ 75.6	△ 10,523
有価証券売却・評価損	587	1,887	221.5	1,300
固定資産減損	2,730	792	△ 71.0	△ 1,938
特別退職金	1,835	221	△ 88.0	△ 1,614
為替差損	8,339	-	-	△ 8,339
その他	432	500	15.7	68

主な増減要因

- ★①その他収益 : 為替差益は主として海外子会社の円建て借入金換算差益。

# 連結業績概要(貸借対照表、設備投資額・減価償却費)

(単位:百万円、%)

《連結貸借対照表》	2009年3月期 期末実績	2010年3月期 期末実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
資産合計	583,684	604,201	3.5	20,517
現金及び現金同等物	41,323	43,518	5.3	2,195
★① 売上債権	102,791	100,366	△ 2.4	△ 2,425
★② 棚卸資産	115,765	100,545	△ 13.1	△ 15,220
投資及びその他の資産	29,345	29,950	2.1	605
有形固定資産	232,862	227,081	△ 2.5	△ 5,781
長期繰延税金資産	18,779	15,617	△ 16.8	△ 3,162
負債合計	311,308	330,239	6.1	18,931
支払手形及び買掛金	85,377	84,124	△ 1.5	△ 1,253
★③ 有利子負債	168,950	187,585	11.0	18,635
退職金及び年金債務	23,259	16,128	△ 30.7	△ 7,131
当社株主資本	270,439	271,908	0.5	1,469
非支配持分	1,937	2,054	6.0	117
資本合計	272,376	273,962	0.6	1,586

主な増減要因

- ★①棚卸資産 : 主として食肉在庫の減少により約152億円減少。
- ★②売上債権 : 売上高の減少により、約24億円減少。
- ★③有利子負債 : 主に転換社債の発行等により、約186億円増加。

(単位:百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2009年3月期	2010年3月期		2011年3月期
	通期実績	通期実績	対前年増減率	対前年増減額
設備投資額	22,148	19,754	△ 10.8	△ 2,394
生産設備	8,736	9,440	8.1	704
販売・物流設備	3,154	2,347	△ 25.6	△ 807
ファーム・処理設備	3,290	3,674	11.7	384
海外事業設備	1,566	835	△ 46.7	△ 731
その他設備	5,402	3,458	△ 36.0	△ 1,944
減価償却費	24,000	24,408	1.7	408

## 連結業績概要(連結キャッシュ・フロー、経営指標)

(単位:百万円)

《連結キャッシュ・フロー計算書》	2009年3月期	2010年3月期	
	期末実績	期末実績	対前年増減額
営業活動キャッシュ・フロー	37,776	67,448	29,672
投資活動キャッシュ・フロー	△ 15,397	△ 60,134	△ 44,737
財務活動キャッシュ・フロー	△ 24,761	△ 5,227	19,534
純キャッシュ増(△減)	△ 2,926	2,195	5,121

(単位:百万円、%、倍)

《B/S 経営指標》	2009年3月期	2010年3月期	
	期末実績	期末実績	対前年増減額
総資産	583,684	604,201	20,517
有利子負債	168,950	187,585	18,635
ROA(税引前、%)	1.1	4.0	—
D/Eレシオ(倍)	0.62	0.69	—

お問合せ先  
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1  
ThinkPark Tower 14階  
日本ハム株式会社 広報IR部  
電話:03-6748-8024  
FAX:03-6748-8189

### 見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。